

ろうさい ニュース

令和4年

4月号

第452号

当院に患者さんをご紹介くださっている先生方には、感謝申し上げます。

地域の皆様からの信頼に応え続けるために「アットホームなハイクラスの病院」を理念に取り組んでいます。



新年度あいさつ

病院長 鈴木 茂彦

まん延防止重点措置が解除されて新年度を迎えましたが、浜松市内や全国の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の新規感染者数は増加に転じ、国際情勢も不穏ですっきりしない状況です。しかし、当院の花壇の花や桜はボランティアの皆さまのお世話のおかげで例年どおりきれいに咲き、患者さんや職員を和ませてくれています。

昨年度は年度初めの第4波の際、院内クラスターが発生し皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。その教訓もあり第5波には早めに対応し、感染者病床を増床することで入院を要するコロナ患者の急増には迅速に対応させていただきました。その後第6波に際しても感染者病床数と一般病床数を適宜調整し対応してまいりました。感染者病床を増やすとゾーニングの関係で一般病床数をかなり減らさざるを得なくなり、救急当番日以外の日の救急患者受け入れを制限させていただいたこともあり、この点でもご迷惑をおかけしたものと存じますが今のところ病床数ひっ迫は落ち着いています。

このように昨年度は年間を通して少ない一般病床数で運用してまいりましたので、延べ入院患者数は減少しているものの、手術数が増加するなど診療実績は上がっており地域医療には貢献できたかと存じます。

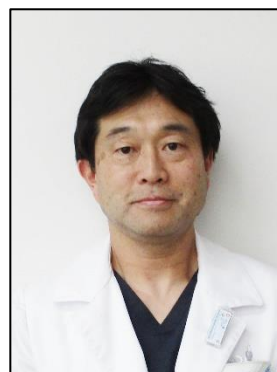


今年度は整形外科の河本正昭副院長・部長が定年退職になり中山憲部長が診療科主任として着任いたしました。河本医師には今後も嘱託として整形外科診療に携わっていただきます。その他いくつかの診療科で新しい医師が着任し、新たな初期臨床研修医も加わりました。新医師につきましては別面で紹介させていただきますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

新規採用医師の紹介

整形外科部長 中山 憲

令和4年4月より整形外科部長に着任いたしました、中山憲と申します。平成5年に大阪市立大学医学部を卒業し、京都大学医学部整形外科学教室に入局しました。近畿圏の関連病院で外傷から人工関節、脊椎疾患の治療経験を得て、2005年に京都大学手外科グループに所属し、末梢神経再生の研究に従事しました。その後2010年にニューヨークのコロンビア大学で1年間、Dr Rosenwasser に師事し、手外科（特に母指CM関節形成、神経移植）の研修を積みました。前赴任先の静岡県立総合病院には2007年から15年間在籍し、手外科、人工関節、脊椎疾患、スポーツ疾患、関節リウマチ、骨粗鬆症、外傷と幅広く数多くの治療経験を積ませていただきました。



特に注力しているのは手根管の外側からアプローチする内視鏡下の手根管開放術（ECTR-0）と、手根管症候群におけるアミロイドーシス（トランスサイレチン型）の早期発見についてです。ECTR-0はより低侵襲な手技を目指しており、経験症例は300例ほどとなっております。アミロイドーシスという疾患は進行性で、心機能に大きな影響を与え突然死の原因ともなりうる疾患で、手根管症候群の治療がアミロイドーシスの早期発見に大きく貢献できるのではないかと追求しております。

病院理念であるようにアットホームに患者さんと接し、ハイクラスな医療を提供できるよう、近隣の医院、病院、その他の医療施設の皆様とともに歩んで行きたいと思っております。頑張りますので何卒よろしくお願いいたします。

消化器内科医師 吉田 裕幸

令和4年4月1日より浜松労災病院消化器内科に着任しました吉田裕幸と申します。出身は兵庫県で、これまで兵庫、大阪、京都で消化器内科医として勤務して参りましたが、この度は縁あって浜松に赴任することとなりました。今年度で医師13年目となります。

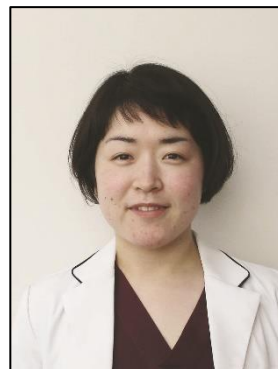
昨年度までは、京都大学大学院で医学研究を行う傍ら、胆膵疾患を中心とした診療を行って参りましたが、こちらでは消化器疾患全般、内視鏡検査等、幅広く診療して参りたいと思っております。地域の皆様にも少しでも貢献できるよう努めますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



新規採用医師の紹介

心臓血管外科医師 友塚 真栄

4月1日に心臓血管外科へ着任いたしました、友塚真栄（ともつかさなえ）と申します。生まれ育った島根県で大学を卒業し、初期臨床研修を終え、京都大学心臓血管外科で後期研修を開始いたしました。卒後4年目となった2022年の春、気持ち新たに浜松労災病院へやってきました。初めて住む太平洋側の街の気候や暮らしに期待を膨らませています。患者さんやご家族と一緒に病気と向き合い、スタッフの皆さんと一緒に患者さんと向き合い、地域の皆さんと一緒に心臓血管外科治療と向き合えますよう、日々精進して参ります。ご相談させていただくこと、お助けいただくことが多々あるかと思いますが、精一杯努めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器外科医師 柴田 知佐

令和4年4月1日から浜松労災病院外科に着任いたしました柴田知佐です。大学まで大阪におり、医師になった2年前から静岡県で暮らしていますが、未だに関西弁は抜けません。

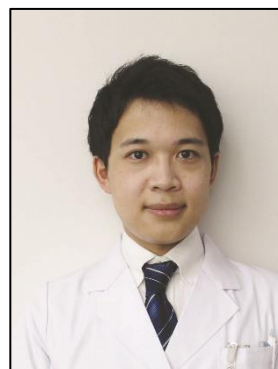
ご縁があつて浜松労災病院に赴任させていただき半年という短い期間ではございますが地域の皆様に貢献できるよう頑張る所存です。

外科医としてはまだまだ未熟で至らぬ点も多くあると思いますがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



泌尿器科医師 荒木 博賢

2022年4月より泌尿器科医として入職いたします、荒木博賢です。京都大学卒後7年目、泌尿器科5年目となります。母が静岡県出身であり、幼い頃によく遊びに来ていました。こちらで働くことができ、嬉しく思います。泌尿器科医として、がん診療、夜間頻尿など、幅広い患者さんニーズに応えられるよう尽力いたします。よろしくお願い申し上げます。



新規採用医師の紹介

初期臨床研修医 大林 立樹

はじめまして。令和4年4月より浜松労災病院で初期研修をさせていただくことになりました、大林立樹（おおばやしりき）と申します。愛知県出身で宮崎大学を卒業しています。1年目で右も左も分からない状態でご迷惑をおかけすることもあると思いますが、全身全霊で日々の業務に励みたいと思います。

そして、地域に貢献できる医師となれるよう、幅広く色々なことを学びたいと思います。

ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



初期臨床研修医 山口 智弘

はじめまして。令和4年4月より浜松労災病院で初期研修として働かせていただく山口智弘と申します。出身は岡山県で、千葉大学を卒業しております。

この度縁ありまして浜松に住むことになりました。住んだことのない地域で、新たな方々との出会いを楽しみにしております。一日でも早く先輩の先生方の知識や技術を吸収して患者様の助けになれるよう、精進して参ります。最初は至らない点もあるとは思いますが、仁愛の病院に相応しい医師になれるよう一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



初期臨床研修医 藤本 拓臣

はじめまして、この度令和4年4月から浜松労災病院で初期研修医をさせて頂きます、藤本拓臣と申します。出身は浜松で大学は久留米大学卒業です。学生時代は硬式テニスにも力を入れていました。

慣れ親しんだ浜松で働けることがとても楽しみであると同時に、研修医としてこれから精進しなければと身の引き締まる思いです。

まだ右も左も分からない新参者でございますが、日々研鑽を積み、地域医療に貢献していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくよろしくお願い申し上げます。



独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院 地域医療連携室

受付時間 電話 053-411-0366 fax 053-411-0315

紹介患者の予約受付 月～金 8:15～18:00 土 9:00～12:00

